

令和元年度 決算報告

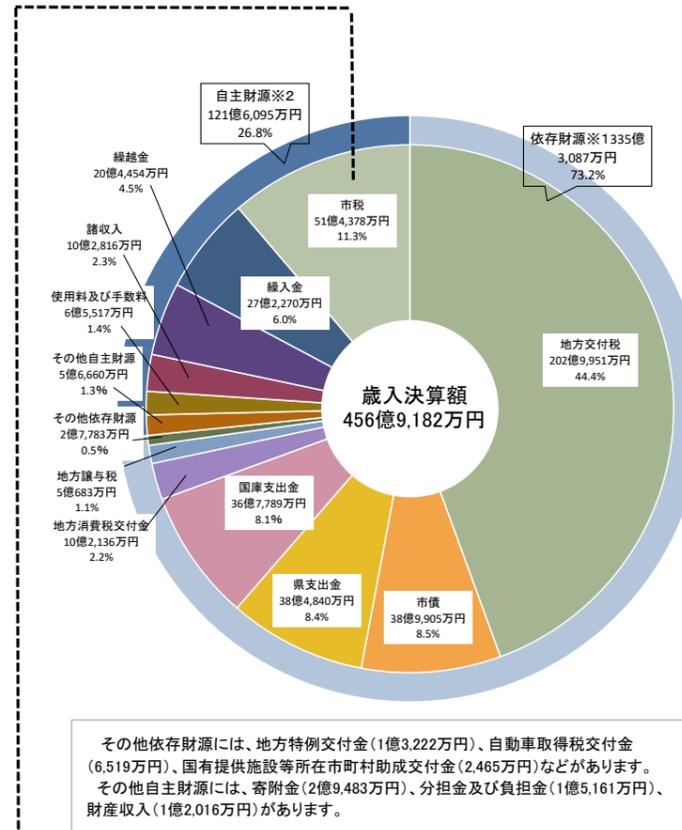
皆さんから納めていただいた税金などがどのように使われ、どのように財政が運営されているのかを知ってもらうために、市では毎年2回財政事情を公表しています。

◆一般会計

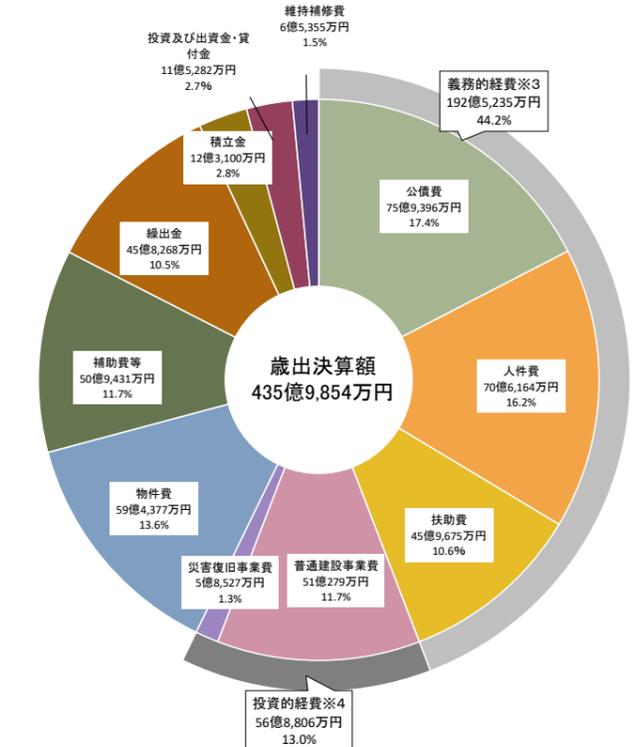
一般会計の決算額は、歳入が456億9,182万円、歳出は435億9,854万円となりました。形式収支(歳入歳出差引)は20億9,328万円の黒字となり、ここから翌年度へ繰越すべき財源7億4,159百万円を差し引いた実質収支は13億5,169万円の黒字となりました。

＜歳入＞ 前年度に比べ23億1,380万円減額となりました。

＜歳出＞ 前年度に比べ23億6,254万円減額となりました。

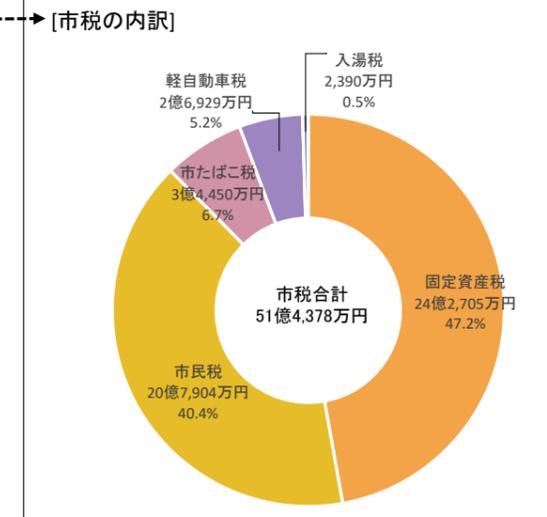


■性質別内訳

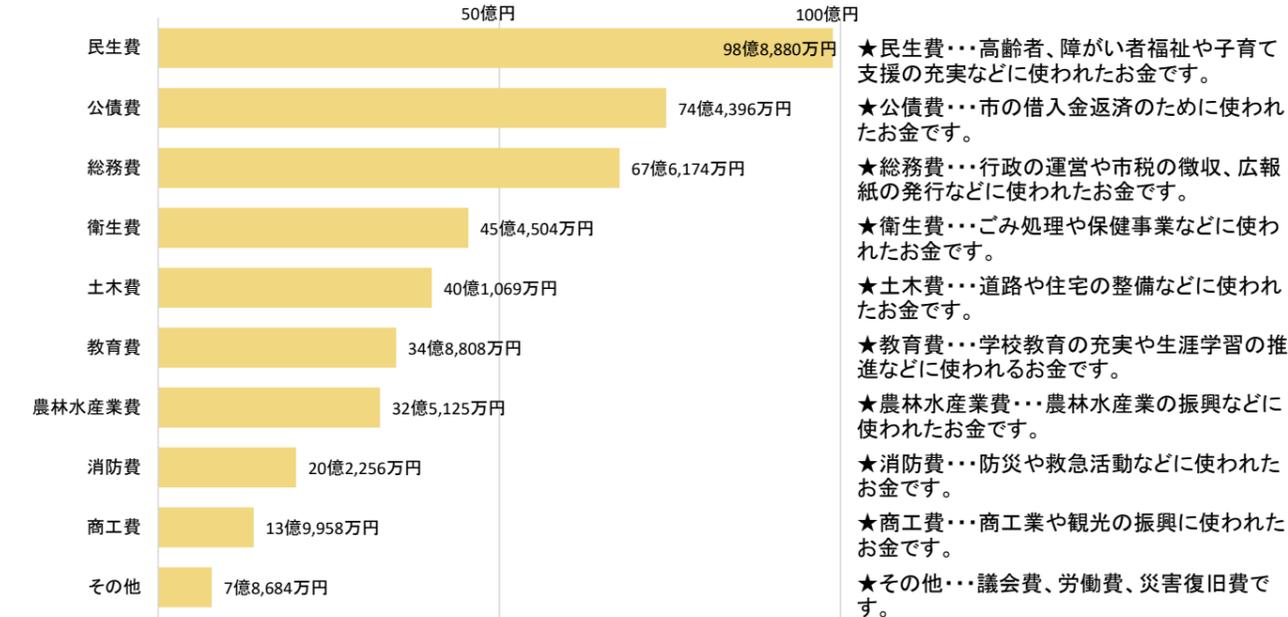


※1 依存財源は、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりするお金です。
 ※2 自主財源は、市が自主的に収入することができるお金です。

※3 義務的経費は、毎年必ず必要となる固定的な支出で、削減が難しい経費です。
 ※4 投資的経費は、道路・学校・公共施設の整備など将来に残るものに支出される経費です。



■目的別内訳



市民一人あたりでは、このくらいのお金が使われました

民生費	18万4,620円	公債費	13万8,976円	総務費	12万6,239円	衛生費	8万4,854円	土木費	7万4,878円
教育費	6万5,121円	農林水産業費	6万7,000円	消防費	3万7,760円	商工費	2万6,130円	その他	1万4,690円

(令和2年3月31日現在の住民基本台帳人口53,563人で計算しています。)

◆特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計で、国民健康保険特別会計など11会計があります。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険	62億9,102万円	61億7,463万円	11,639万円
後期高齢者医療	7億5,696万円	7億4,873万円	823万円
介護保険	92億9,214万円	90億6,797万円	2億2,417万円
下水道	35億1,347万円	34億4,386万円	6,961万円
小水力発電	2,482万円	2,482万円	0円
歌代の里	4億6,966万円	4億5,248万円	1,718万円
すこやか両津	6億1,093万円	5億8,791万円	2,302万円
五十里財産区	56万円	13万円	43万円
二宮財産区	294万円	199万円	95万円
新畑野財産区	282万円	252万円	30万円
真野財産区	354万円	303万円	51万円

◆公営企業会計

公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、水道事業会計、病院事業会計があります。

○水道事業会計

区分	決算額	
収益的収支※5	収入	27億6,057万円
	支出	26億1,903万円
資本的収支※6	収入	12億7,033万円
	支出	20億677万円

○病院事業会計

区分	決算額	
収益的収支※5	収入	15億153万円
	支出	17億4,681万円
資本的収支※6	収入	1億7,579万円
	支出	5,222万円

※5 収益的収支 経営活動で発生する利益とそれに対応する経費です。

※6 資本的収支 将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還金などの支出とその財源となる収入です。

◆市債

市債は、市が大きな事業を実施した時などに借り入れたお金です。

会計名	令和元年度末現在高	
一般会計	545億554万円	
特別会計	下水道	192億2,164万円
	すこやか両津	2億6,774万円
	水道事業	136億9,251万円
公営企業会計	病院事業	4,500万円

◆市の財産

庁舎、保育園、小・中学校などの建物や土地、市の貯金にあたる基金などの状況は次のとおりです。

区分	令和元年度末現在高
土地	73,846,840㎡
建物	567,467㎡
山林	61,749,448㎡
有価証券	6,708万円
基金※7	201億4,641万円

※7 基金 特定の目的のために積立、準備しておく資金のことで、「教育文化振興基金」、「トキ環境整備基金」などの基金があります。

性質別分類

★公債費・・・市の借入金返済のために使われたお金です。

★人件費・・・職員給料のほか、議員や非常勤特別職の報酬などに使われたお金です。

★扶助費・・・生活保護など社会保障に使われたお金です。

★普通建設事業費・・・道路・学校・公共施設などの整備に使われたお金です。

★物件費・・・臨時職員の賃金や各施設の維持管理などに使われたお金です。

農林水産業費	32億5,125万円
<p>■離島漁業再生支援事業 1億4,761万円</p> <p>国の要領等に基づき、それぞれの漁業集落が行う地域漁業の維持、再生活動に対して補助を行いました。また、漁業への就業希望者に対する相談窓口を開設し、各種サポート及びPR活動を行いました。</p>	
<p>■販売網構築事業 3,242万円</p> <p>佐渡産品の販路拡大のためのプロモーション企画や商談会への参加及び営業活動を推進しました。</p> <p>また、朱鷺と暮らす郷米の取扱米穀店を対象に、販売促進キャンペーンの実施や重点地区の関西での米PR、ルレクチェゼリーの開発・販売、米の海外ルート構築などの販路維持及び新規開拓を行い取引につなげました。</p> <p>地産地消事業では、前計画の検証に基づいて、第3次地産地消推進計画を策定しました。</p>	
商工費	13億9,958万円
<p>■観光地域づくり推進事業 8,645万円</p> <p>観光地域づくり法人の体制整備や外部人材の登用、地域や多様な関係者との商品開発(エンジョイプラン・サドベンチャー)に取り組むとともに、セミナーやシンポジウム、研修会の開催を支援し、効果的な観光戦略の策定に向け各種観光データの調査・分析を行いました。</p>	
土木費	40億1,069万円
<p>■安全・安心まちづくり事業 1億9,138万円</p> <p>道路及び河川等の修繕など、主に各集落(地域)からの身近で比較的小規模な要望に対し、広域的なバランスに配慮しつつ早期の工事発注で、市民の生活環境改善及び継続的な雇用の確保を図りました。</p> <p>高齢化で実施が難しくなった市道等の維持管理作業を、地元建設業者に請け負わせることで、受注機会も確保しながら業者の更なる地域貢献を促し、高齢化地域の生活環境の維持を図りました。</p>	
消防費	20億2,256万円
<p>■救急救命対策事業 468万円</p> <p>救急需要の増加及び多様化、救急医療の高度化等に対応するため、救急救命士を育成するとともに、救急救命士が行う応急処置の知識、技術を医学的観点から維持・向上させる体制の整備を図りました。</p>	
教育費	34億8,808万円
<p>■奨学金貸与事業 1億9,250万円</p> <p>教育の機会均等を図り、本市の発展に資する有能な人材を育成するとともに、将来にわたる定住を促すため、奨学金の貸与を行いました。</p>	

お問い合わせ 財政課予算係 63-3114

皆さんから納めていただいた大切な税金は、
さまざまな事業で使われています

令和元年度に行った主な事業の取り組みをご紹介します

総務費	67億6,174万円
<p>■非常用電源整備事業 3,488万円</p> <p>災害等で市役所が停電した際、災害対応や業務継続の確保に必要な非常用発電設備を庁舎(本庁、行政サービスセンター)に整備するため、設計委託と工事を実施しました。</p>	
<p>■世界遺産建造物保存整備事業 1億8,985万円</p> <p>世界遺産に関連する文化財の保存活用のため、その調査や整備計画の策定、保存修理等を実施しました。</p>	
民生費	98億8,880万円
<p>■プレミアム付商品券事業 1億6,455万円</p> <p>消費税・地方消費税率引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起、下支えするため、低所得者・子育て世帯主向けのプレミアム付商品券を発行しました。</p>	
衛生費	45億4,504万円
<p>■島民一丸となった環境美化活動推進事業 3,144万円</p> <p>「環境の島佐渡、世界遺産にふさわしい佐渡」のイメージアップを図るため、官民一体となって幹線道路及び観光地周辺道路等の草刈り等清掃活動を実施しました。</p> <p>そのほか、農道や林道の草刈り等を行うとともに、道路パトロールを行い、通行の支障になる雑草の刈取りや支障木の伐採を実施しました。</p>	
労働費	2,030万円
<p>■雇用促進の支援事業 1,689万円</p> <p>市内就職に向けたセミナーや合同説明会等を開催したほか、地域若者サポートステーションと連携し、若者の就職を支援しました。また、非正規雇用者を正規雇用化する事業所に対し、国の助成金に上乗せして支援しました。</p>	